



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30~13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 247711

会幹	長事	嶺佐川	岸藤村	光	吉衛男
会報委員長		小西佐	池海藤	徳繁正	治一昇

No., 1068

1980.8.5 (火) (晴)

No.,6

ビジター紹介

菅原松雄君 建築設計一鶴岡西R.C

◆ ゲスト紹介

米山奨学生 エテバリ君

◆ 誕生祝

◎会員誕生 早坂源四郎君、三井徹君、三井賢二君

◎奥様誕生 阿蘇幸子様、藤川一子様、風間慶子様、三井章様(健)、手塚峰子様、吉野英子様

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

◆ 皆出席表彰

◎7月160%出席 1名

佐藤(衛)君

◎7月140%出席 2名

張君、嶺岸君

◎7月120%出席 2名

石黒君、中江君

◎7月100%出席 51名

秋野君、阿蘇君、阿部君、藤川君、早坂(源)君、早坂(徳)君、飯白君、石井君、石川君、板垣(俊)君、板垣(広)君、市川君、風間君、金沢君、川村君、黒谷君、小松君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、迎田君、本山君、森田君、諸橋君、中野君、野村君、小野寺君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(友)君、横田君、佐藤(元)君、新穂君、菅原君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、高橋(耕)君、高橋(正)君、高岸君、玉城君、丹下君、手塚君、富樫君、上野君、内山君、鷺田君、山口君、吉野君、西海君

会 長 報 告

嶺岸光吉君

○ 鶴岡工業高校より依頼

8月8日～8月17日まで鶴岡工業高校から、卓球と柔道の全国大会に選手を派遣することについて寄付の依頼。

クラブより30,000円寄付することに決定致しました。

○ 第24回東北盲人福祉大会の後援の依頼

1981年は、国連が提唱する国際障害者の年です。東北各県に在住する視力障害者の代表が湯野浜を会場として開催されます。出席者300人の盲人に対して参加記念品の依頼。

○ 8月5日、山形ロータリークラブ30周年記念式典の案内がありましたので会長イレクト新穂君が出席しました。

クラブ会長名で祝電を差し上げました。

○ 7月22日、庄内分区合同世界社会奉仕委員会開催。

委員長の横田君出席、後程ご報告あります。

○ 8月5日、6日、7日 インターアクト年次大会開催。

鶴岡高専インターアクト、鶴工インターアクト、クラブからはインターアクト委員長吉野君、菅原辰吉君、石黒慶之助君が出席しました。

幹事報告

佐藤 衛 君

1. 会報到着

寒河江R.C、鹿児島西R.C

2. 先週地区大会へお誘いのため例会に見えられた米沢R.C大峽正君より礼状。
3. 第253地区米沢での地区大会の正式案内が参っております。
4. ガバナー事務所より暑中見舞い。尚10日～17日はお盆休み。
5. ロータリーの友8月号7ページの友愛の広場にロータリーと政治と題して早坂源四郎君の記事が載っております。

委員会報告

◎財団が寄付のパーセンテージの順位決定方式が改訂になりました

財団委員長 張 紹淵 君

ロータリー財団に対する寄付のパーセンテージ順位を決めるための、簡素化された方式が7月から実施されます。

すべてのクラブは、7月1日に、1980年6月30日（1979～80ロータリー年度最終日）現在で認められていたパーセンテージ順位をそのまま保持し得ることになっている。

しかし、7月2日以後にクラブが次の順位に到達するためには、直前ロータリー年度以降の会員数増減の如何に関係なく、1979年12月現在の会員数に基づいて会員1名当たり米貨10ドル相当額を寄付すればよいのである。今年度（1980～81）のクラブの寄付額が会員一名当たり米貨ドル20ドル相当額ならば200パーセント、また米貨ドル30ドル相当額ならば300パーセント、それぞれ1980年7月1日現在保持していたパーセンテージ順位に加算されることとなります。

地区の場合は、1980年7月1日に、地区の累積寄付額を1979年12月現在の会員数で割って得た金額に基づいて、最初のパーセンテージ順位が決定されることになっています。

地区は、現ロータリー年度の寄付額が会員一名当たり米貨10ドル増すごとに順位が次々と進むこととなります。即ち米貨20ドルならば200パーセント、米貨30ドルならば300パーセントそれぞれ最初のパーセンテージ順位に加算されるのであります。

会員各位の財団に対してご協力の程お願い申し上げます。

◎庄内分区合同世界社会奉仕委員会出席（報告）

W.C.S委員長 横田 庄 司 君

昭和55年7月22日（火）に開催された掲記委員会に出席したのでその内容を以下の通り報告致します。

出席者

W.C.S小委員長 土門敏雄氏（遊佐）他 庄内分区各クラブW.C.S委員長
全員（10名）

内容

1. 土門小委員長によるW.C.Sの意義の講習（別添253地区協議会資料による）
2. 各クラブへの依頼事項
 - (1) W.C.S委員長又は専任担当者を設置されたい。
 - (2) 委員の任期・事業等は継続性が期待される。
 - (3) 世界社会奉仕資料ファイルは一年限りとせず毎年度申し送り資料として欲しい。
3. W.C.S事業のすすめ方
（別添253地区協議会資料による）

4. 各クラブでの今年度事業活動依頼

地区レベル実施している（3年間継続事業）の「アジア100円献金」は今年度も実施するので協力されたい。ただ地区レベルでの事業は窓口が狭くなるのでクラブレベルでのプロジェクトを遂行されたい。

庄内分区での実施クラブは

遊佐・酒田東・立川（No.1105計画）

温海（No.858計画）

当クラブとしての対応

クラブレベルのプロジェクトは援助要請クラブ、地域を自由に選べるがクラブ単位では小さな援助提供しか実施できず大きな効果を現すか疑問である。従って地区レベルの「アジア100円献金」にクラブ会員の多大の協力を得て金銭奉仕して行きたい。

◎ローターアクト会員増強についてお願い

阿蘇司朗君

ローターアクトクラブから次のような要望がありました。

ローターアクトの会員は現在女性2名を含んで14名ですが、20名以上位にならないと活動しにくいのでR.Cの会員の職場又は知人から入会出来る方をご紹介願いたい。特に女性をもっと増員したい。

毎週第1水曜日と第3水曜日の午後7時から産業会館、或は青年センターで会合を開いているので、すぐに入会しにくいと云う方は1、2回会合の様様をご覧になってからで結構ですので会員増強にご協力お願い致します。

◆ 会員スピーチ

「アメリカ見て歩き」

本山 弥君

先般三菱自動車工業と工業自動車販売の「アメリカ交通事情調査団」に加わって、アメリカに行って参りました。特に珍しい事もご座いませんが、私なりに感じた事等お話しいたします。

参加者は三菱の関係者とディーラーの方、整備関係、トラック関係の方々で、バス関係は私だけでした。

コースはサンフランシスコ・カナダ・ナイヤガラ・バッファロー・ディアボン・デトロイト・シカゴ・ラスベガス・ロスアンゼルスと廻って6月4日から20日迄の期間です。

最初に見学したのはサンフランシスコのベネチュアと云う会社で、日本車をアメリカに陸揚げしている、西海岸の基地になる会社でサンフランシスコとボストンで営業していますが、8万坪位の敷地を有し、揚陸後ここで組立ててアメリカ各地に配送されます。

東部に行くとき若干日本車が不足して見えますが、大体は5台に1台位の割合で日本車が走っています。25%が日本車だと云われています。輸入車の80%が日本車で、トヨタ・日産・本田の順で、その次がドイツのホンクスワーゲンになっています。

現在、米国の自動車産業は約30%減で、その分日本車が躍進しているので実際に現地で見ると、なる程苦情も云いたくなるような感じです。

グライスラーの工場を見学しましたが日産の追浜工場等と比較すると非常に粗末な感じです。

フォード社では日本の自動車関係者には何にも見せる物がないとの事で、見学を断られました。トヨタとの合弁会社が噂されている関係上、我々には見せる事が出来なかったと思います。

ジェネラルモーターズ社は1時間半位の交渉でやっと見学を許可されました。日本車に対向する為に2,000cc位の車を製造しているのを見学しましたが、質問も駄目で勿論カメラも禁止でした。

トラックの会社も2社、見学しましたがあらゆる点で日本が参考にするところがありませんでした。

私の本業のバスですが、これもトイレがついてると云うだけで技術的にも機能的にも参考になりません。

車輛の価格も日本車に比べて2倍ほどです。生産台数が少ないので殆どどの工程が手造りのため高価になるとの事です。

観光地としては、ナイヤガラ・ラスベガス・ディズニールランド・サンタモニカ・グランドキャニオン等を見ましたが、日本とは違った風景、施設があってそれなりに参考になりました。

参考のために良いホテルに宿泊したつもりですが、どのホテルもパーフェクトな所がなく、水はけが悪いのや、お湯が出ないと云ったホテルがざらにありました。この点、日本のホテルは世界一ではないかと思いました。

我々はとかく外国製品や建物は良いものとの先入観念がありましたが、超高層ビル等は別として、その他は東京・大阪等と比べても何も珍しい物もないといったのが全体的な印象でした。

工場の作業員について見ますとジェネラルモータースを見学したとき、殆どどの工員が葉巻や、たばこをくわえながら仕事をしているし、休憩時にはトラックでばくちをやっています。シボレー主力の会社でありながら通勤には日本車を使っている。ちょっと日本人には理解の難かしい点が沢山目に付きました。

労働事情に関しても日本にかなわないと感じたのはトラック会社の営業所長に質問しても社長名も車の保有台数も全く知らないのに驚きました。そんな事は本社に聞いてくれとの事でした。

米国ではオーナーの考え方一つで簡単に社長も更迭させられ従業員の知らぬ間に会社ぐるみの売買等も安易に行なわれるので社長の名前等には無関心だとの事です。

日本の会社では、よほど悪い事でもしない限り首になりませんが、米国では労働者も強いが経営者も強く、雇用条件に満たないような社員はすぐ首にされるし、出張中に自分の机が無くなっているといった事がしょっちゅうあるようです。

あらためて考えさせられるのは日本の労働者は極めて勤勉である反面、アメリカがたるんでるから日本がこれ程事業が伸びているとも感じて来ました。

出席報告

本日の出席	会員数	69名	欠席者	秋野君、早坂(源)君、石黒君、石原君、板垣(広)君、小松君、三浦君、皆川君、斎藤(利)君 笹原君、新穂君、菅原君、富樫君、吉野君
	出席数	55名		
	出席率	79.71%		

前回の出席	前回出席率	85.71%	メンバーアップ	秋野君、板垣(俊)君、板垣(広)君、金沢君、三浦君、野村君、佐藤(友)君、高橋(耕)君 一鶴岡西 R.C
	修正出席数	68名		
	確定出席率	97.14%		